

10月度例会 個人		山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
山域		北アルプス		報告日	11/14		
山名		奥穂高岳		山行日		12年10月12日(金) ~10月14日(日)	

山行目的	涸沢の紅葉と名峰を楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	--------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図: 上高地、穂高

10/12 晴れ	10/14 晴れ
05:15 起床	05:00 起床
06:15 沢渡P着 (06:30~07:10 タクシー)	06:45 涸沢(テング場)発
07:15 上高地発	09:00 横尾1本(10分)
08:05 明神1本(5分)	10:00 徳沢(ランチ35分)
09:00 徳沢1本(10分)	11:15 明神1本(10分)
10:10 横尾1本(10分)	12:00 上高地着
11:15 樹林の中1本(10分)	
12:20 広場で1本(10分)	
13:30 涸沢(テング場)	
10/13 晴れ	
05:00 起床	
06:45 テング場発	涸沢の紅葉 と朝焼け
07:35 途中1本(10分)	
09:05 穂高山荘1本(10分)	
10:00 奥穂高岳山頂	
10:30 奥穂高岳山頂発	
11:15 穂高山荘1本(15分)	
12:00 涸沢(テング場)	

山行報告 <第1日目(10/12)>昨夜、自宅をゆっくり出発(22時)、みどり湖PAで車中泊。5:15起床。松本ICから沢渡へ。駐車場で勧められ、年配ご夫婦とタクシー相乗りで上高地へ。上高地が初めての奥さんを連れて散策との事。お気をつけての言葉でお別れし、出発。横尾までは、急登もなく順調に到達。今日は、涸沢までであり、横尾からは、樹林帯に入り、ポレポレペースへ変更。本谷橋を過ぎ、徐々に登りがきつくなってくる。1h程歩き、平坦で紅葉と眺望の素晴らしい所で1本。「上は、もっと素晴らしいよ」の声で、疲れも吹っ飛んだ。最後の急登を登りきると涸沢へ到着。テントを設営しては、涸沢の眺望を堪能した。「涸沢の紅葉さかなに飲むビール 世間の憂さぞしばし忘れる」

<第2日目(10/13)>5時起床。食事の後片付けをしていると外が賑やかだ。テントの外へ出ると、素晴らしい朝焼けだ。妻を外へ連れ出してしばし眺めた。最低限のものだけをデイバックとサブザックに詰め替えて出発。2ピッチで穂高山荘へ。奥穂が圧倒的存在感を持って見下ろしている。「私、登れるのかな?」「一歩ずつ、登れば行けるよ。」心配顔の妻を励まし、壁の様な登山路に取りつく。足だけでなく、手も使って岩を攀じっていく。風も冷たい。ヤッケを着ても汗をかかず、タオルをマフラー代わりにし、時々鼻を覆わないと痛く感じる。夢中で上を目指して1h、頂上だ。証拠写真を撮ってニンマリ。頂上で360度の眺望を楽しんで下山。慎重に降り。山荘迄降り、長めの



1本。一気にテング場迄降り、小屋でアイスを食べた後は、のんびりと過ごす。

<第3日目(10/14)>今日も5時起床。朝食をすまし下山の準備。もう一度、朝焼けを見ようと外へ出るも、肩透かし。テント撤収、名残惜しいが下山開始。名残の紅葉を眺めながら歩くも、すぐに大渋滞。いつも以上の大ポレポレで本谷橋へ、やっと到着。道幅が広くなり、いつものペースを回復。徳沢園で名物のカレーとチャーハンを食して、大賑わいの上高地へ。満足の山行は終了。



確認(リーダー)
津田
12.10.31
作成(報告者)
津田
12.10.31

リーダー所見
「紅葉が綺麗だから、涸沢まで行こう」と、妻を誘っての山行だった。天気に恵まれて、奥穂の頂上まで行けたのも、最高に良かったし、朝焼けの美しさも素晴らしかった。豊橋の山好きメンバーが、諸事情で参加できず、妻と2人の山行となったが、私も妻も、心底楽しむ事が出来た。来年は、槍へも妻を連れて行ってあげたいと思う。

ワンダフル 赤に黄色に 一面の
涸沢じゅうたん 思わず見とれ